

害獣接近警戒システムの進化

猿人善快シリーズ
(全国100箇所以上に設置)

猿人善快v5 (仮称)

サル・クマ・シカ・イノシシ対応



テレメトリ発信器 (首輪)



サル検知!

害獣検知!

スイッチON!

ワイヤレス ~150m
最大100箇所に対応

忌避手段のスイッチON

害獣検知場所 (位置) に一番近い忌避装置を稼働させることで、忌避行為に慣れることなく、より高い忌避効果とその継続が期待できます

従来の接近警戒システム「猿人善快v3」との比較

メリット

事前のテレメトリ発信器装着の手間が省けます
通知あるいは忌避手段の選択肢が増えます
警戒対象とする害獣の種類が増えます
ITの活用範囲が広がります (例: 検知画像添付のMail通知)

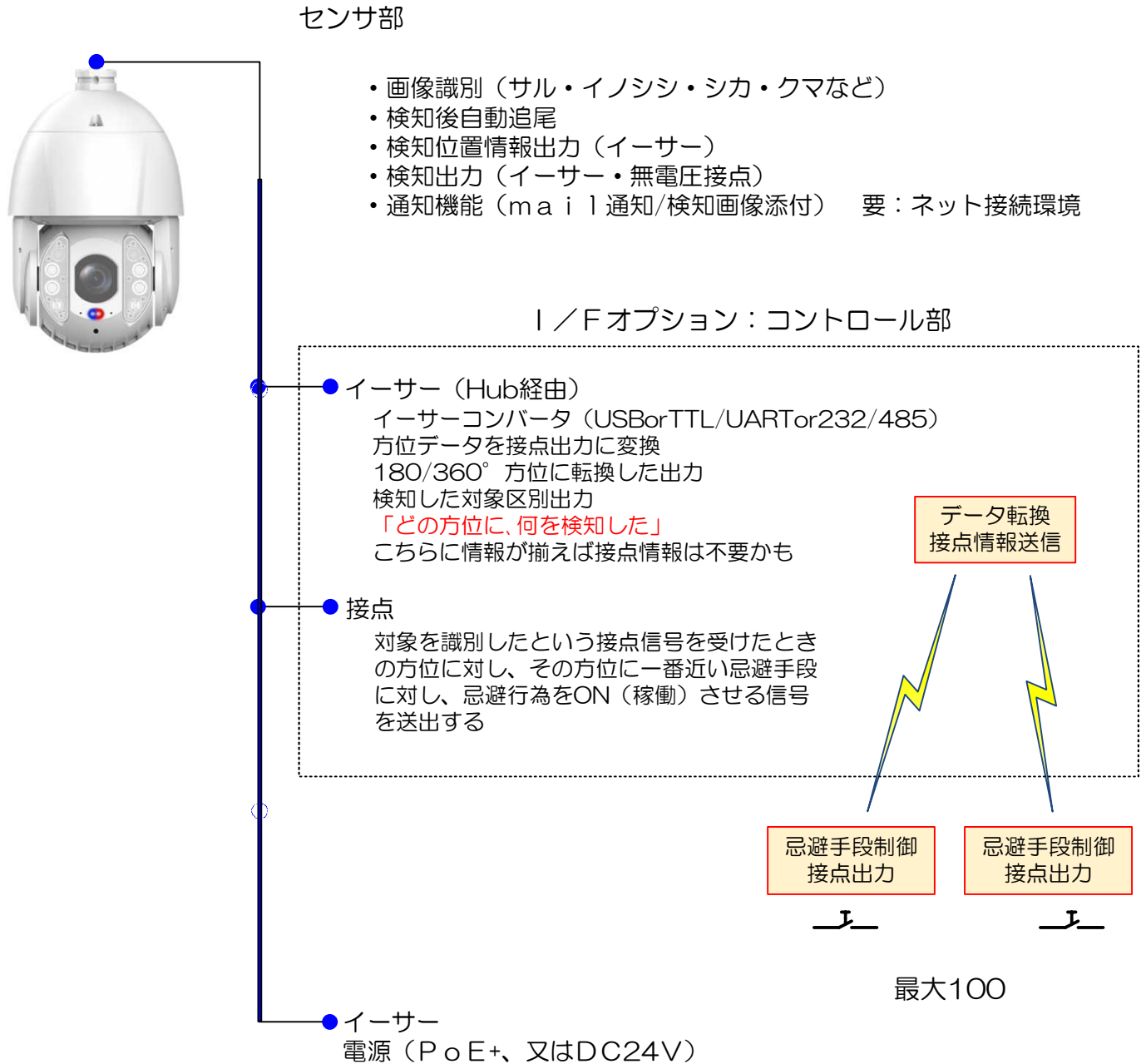
- 画像識別 (サル・イノシシ・シカ・クマなど)
- 検知後自動追尾
- 検知位置情報出力 (イーサー)
- 検知出力 (イーサー・無電圧接点)
- 通知機能 (mail通知/検知画像添付)

デメリット

電波探知距離500m~1Kmに比べ、目視と同じですから検知識別できる距離は最大で100mくらい (日中) と短くなります (夜間70mくらい)

ここに記されている内容については開発途中のものであり、改良のため予告なく変更されることがあります。あらかじめご了承下さい。

害獣接近警戒システムの進化



※検知識別可能距離：日中最大100m程度、夜間最大70m程度
忌避手段のワイヤレス制御範囲（距離）は、見通し最大で150m程度

ここに記されている内容については開発途中のものであり、改良のため予告なく変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。